

PRESS RELEASE



報道関係各位

2026年3月3日

BYD JAPAN 株式会社

BYD、大型路線電気バス「K8 2.0」を遠州鉄道へ導入

静岡県西部初！2026年3月3日より運行開始

- BYD 大型路線電気バス「K8 2.0」を遠州鉄道へ納入し、2026年3月3日より遠州鉄道 三方原営業所にて運行開始
- 314kWh リン酸鉄リチウムイオンバッテリー搭載、一充電走行距離 240km
- 静岡文化芸術大学の学生によるコンペ採用デザインを採用

BYD JAPAN 株式会社（本社：神奈川県横浜市、執行役員 副社長：石井澄人、以下：BYD）は、この度、遠州鉄道株式会社（本社：浜松市中央区旭町、社長：丸山晃司、以下：遠州鉄道）に BYD の大型路線電気バス（以下：EVバス）「K8 2.0」1両を納入し、2026年3月3日（火）より運行を開始します。



■ EVバスの概要

- (1) 運行開始日：2026年3月3日（火）
- (2) 導入営業所：遠州鉄道 三方原営業所

(3) BYD 大型 EV バス「K8 2.0」 主要諸元

車 長 : 10,500mm
車 幅 : 2,495mm
車 高 : 3,300mm
乗 車 定 員 : 78 名
バ ッ テ リ ー : 314kWh リン酸鉄リチウムイオン
一 充 電 走 行 距 離 : 240km

■ 車両デザインについて

EV バスの導入に伴い、その外観デザインについては、遠州鉄道が地域の皆様に公共交通や脱炭素をより身近に感じていただけるよう、静岡文化芸術大学の学生を対象にコンペ形式で募集し、社内審査を経て決定いたしました。コンセプトは、EV バスの「未来感」と、同社が 80 年以上培ってきた「遠鉄バスらしさ」です。

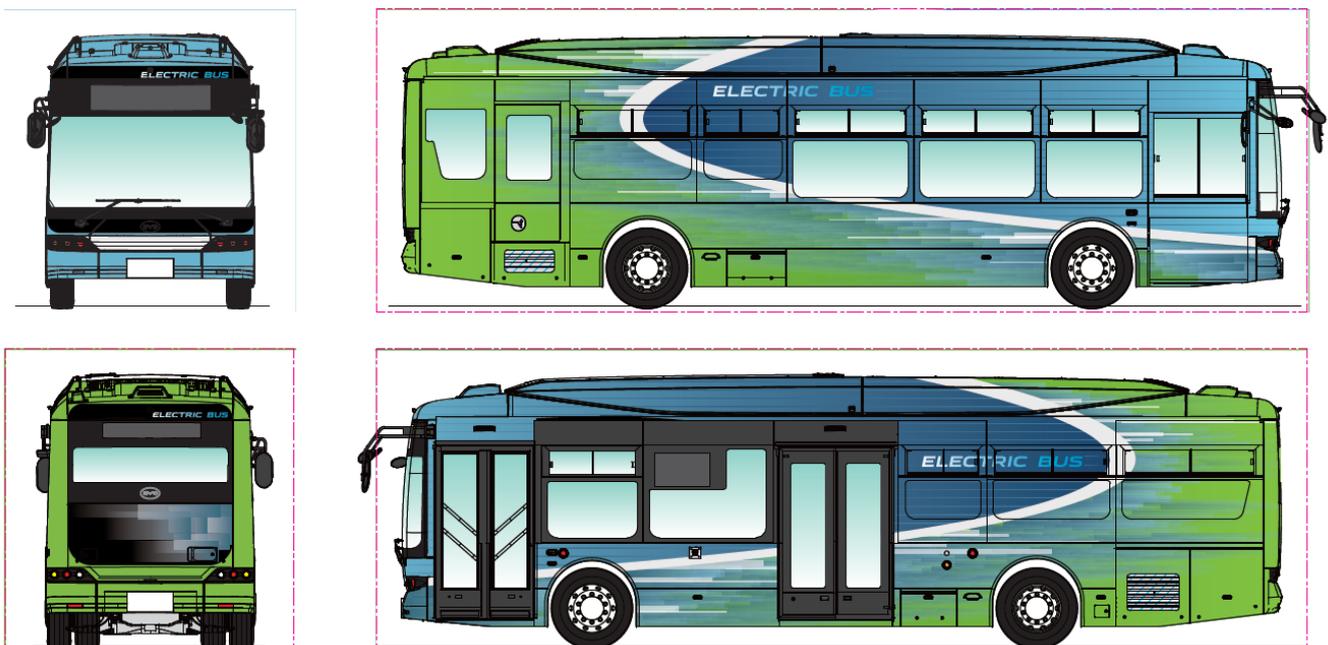
3 月 2 日（月）に開催された出発式の会場では、今回のデザインを担当した静岡文化芸術大学デザイン学科 2 年生の山本修平さんも参加。多くの関係者が集まる中、今回のデザインテーマや思いについて、以下のように語りました。

<静岡文化芸術大学 デザイン学部デザイン学科 2 年 山本 修平さんのコメント>

「EV バスの持つ先進性がシームレスに地域に馴染み、持続可能な都市インフラとなって欲しいという意図を込め「未来に繋ぐ」というコンセプトを立てました。グラフィックは浜松に吹く強い風をモ

■遠州鉄道 大型電気(EV)バス K8 2.0 2025.9.27作成

デザイン用バス図面



チーフとし、後ろから前にリズムを作ることで伸びやかさを表現しました。また、EV バスがグリーン社会を形成していく様子、街に自然と馴染んでいく様子をグラデーションにより抽象的に表しました。そしてカラーについては、「地域とともに歩む未来のカラー」をテーマに、グリーン社会を象徴するようなみずみずしく爽やかなイメージの緑と未来感や先進性を表し、明るくキラキラとしたイメージの青を使用しました。全体を通し、グラフィックと色の組み合わせによって先進性と親しみやすさの絶妙なバランスを狙いました。」

■ EV バスの導入を支援する BYD のソリューション

BYD は技術革新の著しい EV 市場において、日本国内で 10 年、500 台を超える豊富な導入実績を有しています。今回、遠州鉄道に納車した「K8 2.0」は、同社の 2 年間にわたり他社比較・検討を重ねた結果、選定されました。同社の比較検討では、何よりも日々の安全運行に欠かせない乗務員の運転感覚（操作性、疲労度など）が厳しく評価されました。BYD「K8 2.0」は、安心・安全なリン酸鉄リチウムイオンバッテリー（ブレードバッテリー）による十分な航続距離に加え、エンジンを搭載していないことから、これによる騒音や振動が一切なく、円滑な発進、加速による乗り心地も良好との評価を受けています。また、車内外に騒音や排気ガスを出さないため、乗務員、乗客のみならず、路線の近隣住民からも静かで快適な公共交通として、高い評価を受けています。

この他にも、BYD の EV バスは全車、全席にスマートフォン充電用の USB ポートを完備するなど、日常の通勤・通学・お出かけ時の利便性を向上させることに加え、災害時などには、大容量の駆動用バッテリーを「非常用電源」として活用できるなどの大きな商品特徴を備えています。

■ BYD の EV バス事業について

現在 BYD は、グローバルで累計約 9 万台の EV バスを納入しており、世界中の公共交通の電動化を後押ししてまいりました。日本への導入は 2015 年から始まり、今年で 11 年目を迎えました。今ではすべて日本の路線バスに求められる法的要件および基準にすべて合致した 3 タイプの EV バス（小型：J6、中型：J7、大型：K8）を取り揃えています。現在 BYD の EV バスは、国内を走る EV バスのトップシェアを誇り、北は北海道から南は沖縄までの幅広いエリアで日々、多くの市民の重要な足として活躍しています。

■ BYD 電気バスの大きな特徴

BYD の最新技術で作られた安心・安全なリン酸鉄リチウムイオンバッテリーを搭載していることに加え、力強いモーターによる発進加速と高い静粛性、さらには、走行中は一切、二酸化炭素を排出しない環境に配慮した、クリーン・モビリティであることです。また、公共交通に欠かすことのできない高い安全性を確保するために、バッテリーを車体後部と天井部分に分散して配置することに加え、

後輪を駆動する強力な電気モーターをホイールの内側（インホイール式）に配置しています。これにより、段差のない低床フロアと後方まで続くフラットな床面を実現。乗降時ならびに車内での移動が安全に行えるようになりました。

今後も BYD は、高度な安全技術を基盤に、環境負荷の低減と公共交通のサービス品質向上を両立させる製品を提供し、全国でバス事業を展開するお客様をはじめ、EV バスに興味関心をお持ちのお客様と共に、それぞれの地域の皆様に信頼される持続可能な交通インフラの構築の一助となれることを目指して努力してまいります。

以上

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2026年3月3日（火）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

製品に関するお問い合わせ：

ビーワイディージャパン株式会社 お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>

報道関係お問い合わせ

BYD Japan 広報部 担当：池畑・呉・張・倉持